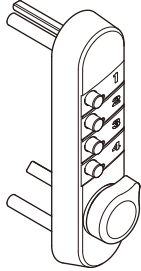
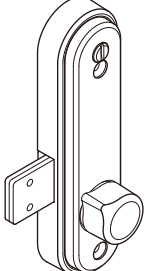
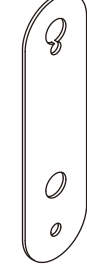
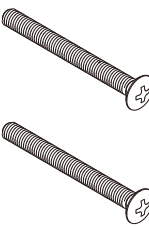
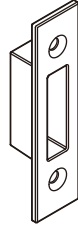


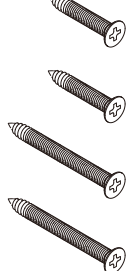

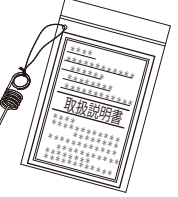




このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。  
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。  
締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

7274994

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

									
① 面付室外本体 1	② 片面室内・座 set 1	③ 室内座用スペーサー 厚さ 1・2・3 mm 各 1	④ 本体固定ねじ 長さ 45 mm 2	⑤ 受箱 No.1 1	⑥ 受箱 No.2 1	⑦ 受箱 No.2 用スペーサー 厚さ 1・2・3 mm 各 1	⑧ 受箱取付ねじ 長さ 25・40 mm 各 2	⑨ 施・解錠方向表示シール 1（①に同梱）	⑩ 取扱説明書 記憶変更ピン 1set

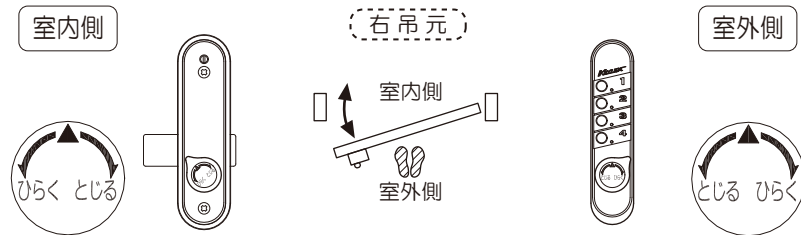
### 1 取付前の準備： ⑤作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

#### 【1-1】右吊元時

吊元変更ねじ

① 施解錠方向表示シール

工場出荷時は右吊元位置に取り付けてあります。ねじの入れ替えは不要です。  
下図のようにつまみ天面に貼ります。

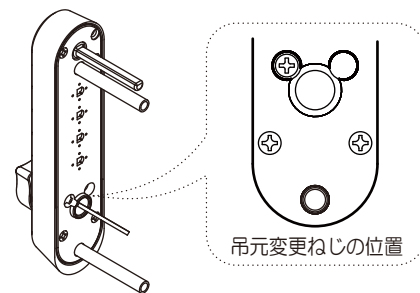


#### 【1-2】左吊元時

吊元変更ねじ

ねじの入れ替えが必要です。

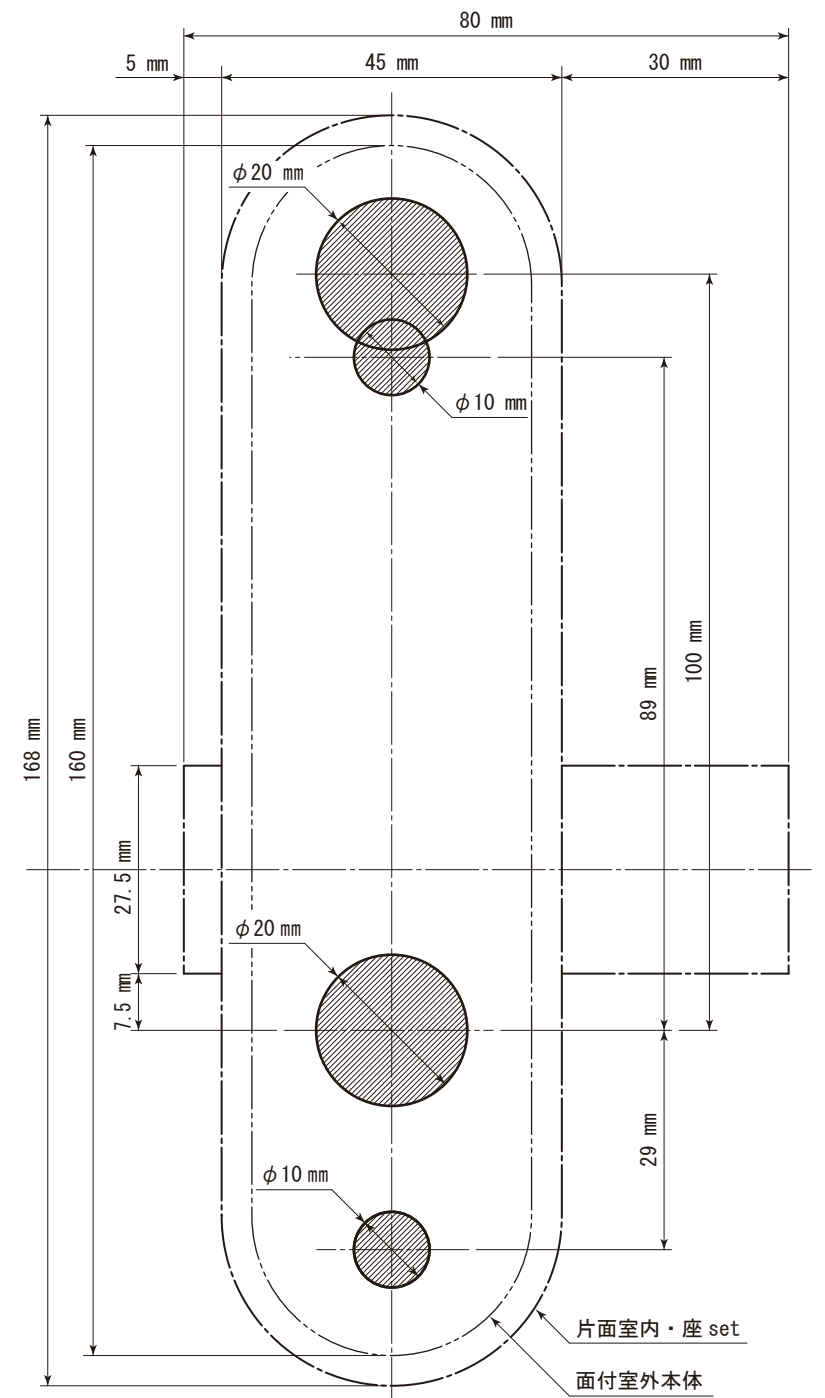
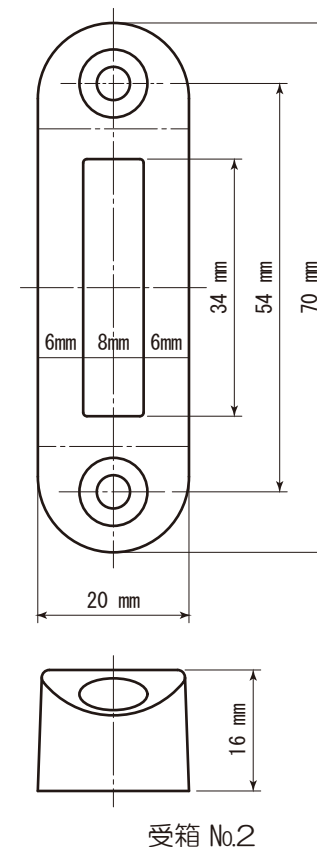
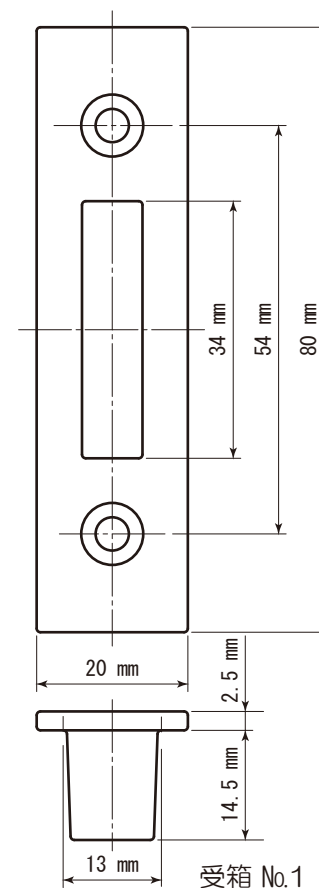
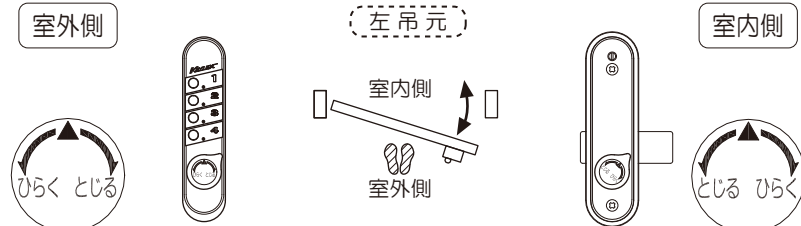
① 面付室外本体裏側にある吊元変更ねじを、左側へ入れ替えます。



⚠ 吊元変更ねじを逆の状態に取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。

① 施解錠方向表示シール

下図のようにつまみ天面に貼ります。

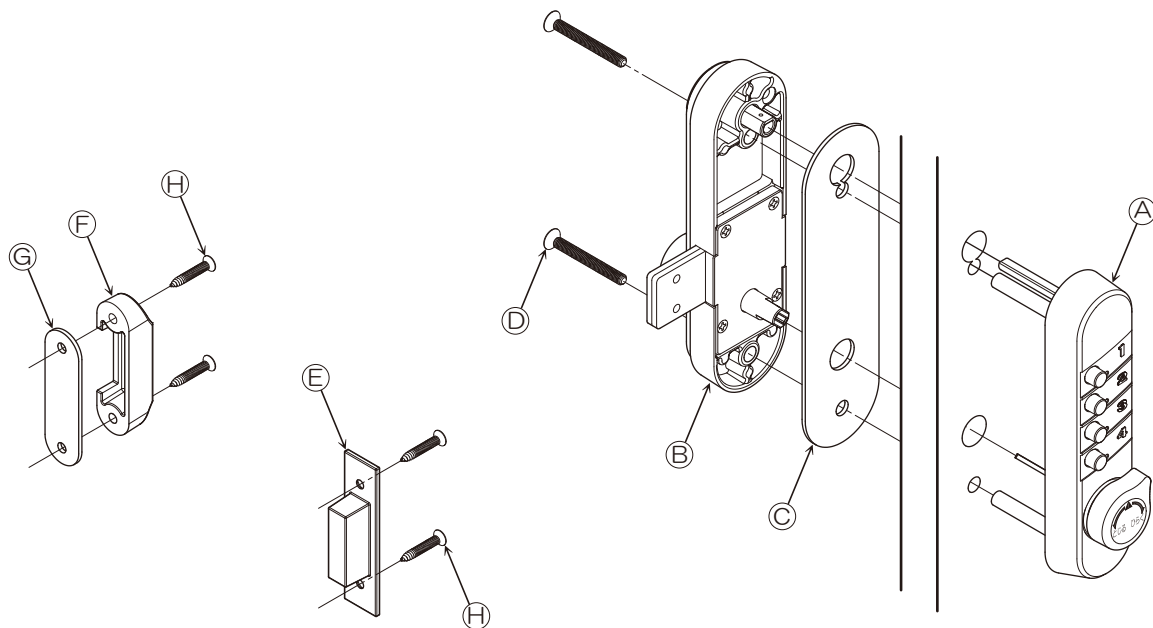


## 2 扉への取り付け加工

Ⓐ面付室外本体・Ⓔ受箱 No.1 または、Ⓕ受箱 No.2 の取り付け穴加工をします（裏面切欠図参照）。  
バックセットは、使い勝手を考慮し設定してください。

## 3 キーレックス 047・受箱の取り付け

取り付けは手動ドライバーを使用してください。電動ドライバーは使用しないでください。  
工場出荷時は記憶番号の設定がされていないフリー状態です。  
誤施錠を防ぐ為に、取り付け作業が終了するまでフリーでご使用ください。



本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

- I：室外側に Ⓐ面付室外本体をセットします。  
II：Ⓑ室内本体・座 set をデッドボルトを突き出させた状態でセットします。  
（ Ⓒ室内用スペーサーは、取り付け環境に合わせて使用します）  
III：Ⓓ本体固定ねじ 2 本で固定します。  
IV：Ⓔ受箱 No.1 または、Ⓕ受箱 No.2 を、Ⓖ受箱取付ねじで固定します。  
（ Ⓖ受箱 No.2 使用時は、Ⓖ受箱 No.2 用スペーサーを取り付け環境に合わせて使用します）

## 4 記憶番号の設定

正しく取り付けられた事を確認したら、Ⓐ面付室外本体に記憶番号を設定します。  
別紙取扱説明書（お施主様向）の『記憶番号新規設定手順』をご覧ください。  
設定した記憶番号を別紙取扱説明書（お施主様向）の『記憶番号の記録』欄へ記入し、記憶変更ピンと共にお施主様へお渡しください。

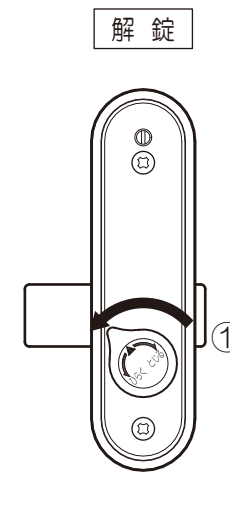
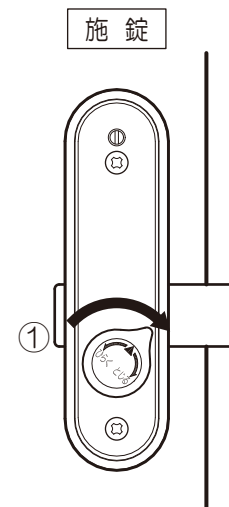
## 5 作動確認： ロックターン・サムターンが作動しない場合は、① ④ をもう一度確認してください。

7274994

施錠：① 扉を閉め、  
サムターンを『とじる』へ回します。  
（サムターンは回した位置で止まります）

室内側

解錠：① サムターンを『ひらく』に回します。  
（サムターンは回した位置で止まります）

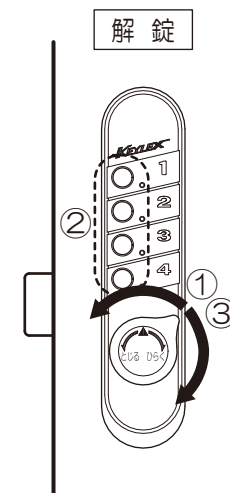
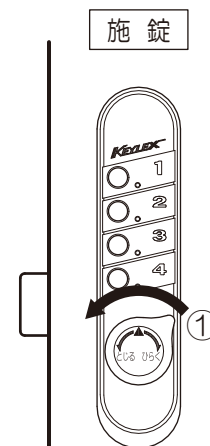


本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

施錠：① 扉を閉め、  
ロックターンを『とじる』へ回します。  
（ロックターンは元の位置に戻ります）

室外側

解錠：① ロックターンを『とじる』へ回し、  
本体が記憶している番号をリセットします。  
② 正しい記憶番号を押します。  
③ ロックターンを『ひらく』に回します。  
（ロックターンは元の位置に戻ります）



本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

※ 製品に塗布してある油分が、使用当初や長期間使用されなかった後などに固くなり、作動が鈍くなる場合がありますが故障ではありません。何度か操作されますとスムーズに動くようになります。

NAGA  
SAWA

株式会社 長沢製作所

www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032  
大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代）  
FAX. 06-6783-5092